

1. 件名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（泊3号炉）
（506）
2. 日時：令和5年4月28日 10時00分～10時50分
3. 場所：原子力規制庁 8階A会議室（一部TV会議システムを利用）
4. 出席者：（※ TV会議システムによる出席）

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

宮本上席安全審査官※、藤原主任安全審査官、秋本安全審査官、
大塚安全審査官、小野安全審査官

北海道電力株式会社：

原子力事業統括部 部長（安全技術担当）、他12名

原子力事業統括部 原子力リスク管理グループ（主幹）※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

なお、本面談については、事業者から対面での面談開催の希望があったため、「緊急事態宣言解除を踏まえた原子力規制委員会の対応について」（令和4年3月9日 第70回原子力規制委員会配付資料）に基づき、オンラインで実施した。

6. その他

提出資料：

- （1）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）第6条 外部からの衝撃による損傷の防止（その他外部事象）
（DB061N r. 8. 0）
- （2）泊発電所3号炉 設置許可基準規則等への適合状況について（設計基準対象施設等）比較表 第6条 外部からの衝撃による損傷の防止（その他外部事象）（DB061N-9 r. 7. 0）
- （3）泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト（第6条 外部からの衝撃による損傷の防止（その他外部事象））
- （4）泊発電所3号炉 前回審査資料に対する記載適正化箇所リスト 第6条 外部からの衝撃による損傷の防止（その他外部事象）
- （5）泊発電所3号炉 設置許可基準規則への適合状況について 第6条 外部からの衝撃による損傷の防止（その他外部事象）

以上

時間	自動文字起こし結果
0:00:05	はい。規制庁大塚です。それでは北海道電力泊発電所3号炉の設置変更許可申請の、6条その他外部事象関係のヒアリングを開始します。
0:00:16	それではまず、地すべりの説明について事業者からお願いします。
0:00:21	はい。北海道電力の太細です。本日説明内容、3点ございましたけれどもまず地すべりEを説明させていただきます。
0:00:32	資料を、
0:00:35	5種類ありますけれども、資料の4-5と。
0:00:39	いうものをご覧ください。
0:00:43	パワーポイント形式のものですね。
0:00:48	地すべり調査して、してその結果を取りまとめ中ということでしたけれども、結果取りまとめましたので概要をご説明いたします。
0:01:01	資料4-5の2ページをご覧ください。
0:01:07	地すべりと言ってまずけれどもまずどういった事象を考えているかというところで三つ事象ございまして、一つは地すべり、
0:01:17	それから二つが二つ目が土石流、三つ目が、急傾斜地の崩壊という三つの事象を総称して地すべりというふうに呼んでおります。
0:01:30	この資料2ページの第3-3図ですけれども、これ地すべりのうちの地すべり地形と、
0:01:38	いうところを示した図になっておりまして、赤い範囲、
0:01:43	これがですね文献において示されている範囲。
0:01:48	一方現地の現地調査、それから航空写真の判読なんかを行いまして、当社として、地すべり地形と、
0:01:57	地すべり地形が認められるというふうに評価している部分が、
0:02:02	黄色い部分というふうになっております。
0:02:07	この黄色い範囲に安全施設があるかということですがけれども、モニタリングポストという、安全重要度クラス3の、
0:02:17	安全施設が存在します。
0:02:20	クラス3ですので、修復、または代替というところの方針ですがけれども、モニタリングポストの代替品、これを確保しておりますので、
0:02:30	安全機能は損なわないというふうに考えております。
0:02:35	続きまして資料の3ページをご覧ください。
0:02:41	左側、
0:02:42	3-4図というのが、土石流に関する、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:47	ところですけども、ピンクで示してる範囲、これが文献で示されている範囲になります。
0:02:55	この範囲に安全施設があるかというところで行きますと、安全施設は存在しないと。
0:03:02	ということから土石流によって安全機能は損なわないと。
0:03:08	ということになります。
0:03:10	右側3-5図ですけども、これは急傾斜地の崩壊ということで、緑の範囲、これも文献で示されてる範囲ですけども、
0:03:21	この範囲に安全施設と、
0:03:24	ということになりますとモニタリングポストが存在しますけれども、地すべりと同様にですね。
0:03:31	代替品を確保しているということから、安全機能を損なわないというふうに考えております。
0:03:38	以上をまとめますと、地すべり、土石流及び急傾斜地の崩壊と、
0:03:45	いうところを考慮したわけですけどもいずれに対しても安全機能は損なわれないというふうに評価しております。
0:03:54	なお、詳しいですね写真であるとか現地調査の内容については、まとめ資料の補足説明資料ということで、追加しております。
0:04:05	まず地すべりに関する説明は以上です。
0:04:12	規制庁大塚ですご説明ありがとうございます。まず確認したいんですけど、衛藤3月30日の審査会合で、その他外部事象1度、議題に上がってますけど、
0:04:24	そのときに、
0:04:26	まだ取りまとめ中のものをご説明いただいていたんですけど、審査会合で以前説明した内容から、設計が変更した箇所っていうのありますでしょうか。
0:04:38	北海道電力の太細です。設計方針としましては、重要安全施設クラス1に、これは斜面だとか離隔をとるという方針であとクラス3については、
0:04:52	代替品であるとか修復するという設計方針、これ3月30日の時もそのような設計方針でして、今回その設計方針を
0:05:02	を変える見直すということはありません。
0:05:05	以上です。
0:05:09	はい。規制庁大塚です。3月30日の審査会合から、設計変更することはないということで理解しました。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:22	規制庁大塚です。中身、まとめ資料の、
0:05:27	比較表の中身に入っていきたいんですけど、
0:05:30	6、自然の21ページをお願いします。
0:05:38	ここ、今回泊の場合は、急傾斜地崩壊が含まれるということなんですけど、比較対照である島根、
0:05:49	は、休憩。
0:05:51	車崩壊がないということなんですけどシマノ以外の他のプラントで実績があるプラントはありましたでしょうか。
0:06:02	北海道電力の太細です。島根2号はですね、急傾斜地の崩壊を見たんですけども結局、地形、島根の周辺には、
0:06:15	そういった地形が文献で示されてないと。
0:06:19	ということだと理解しております。
0:06:21	そういった意味でいきますと、大飯34号炉ですね。
0:06:25	大井さん4号炉が、急傾斜地の崩壊箇所と、崩壊危険箇所ということで、一部敷地、周辺、
0:06:37	まで見てそういう箇所があると。
0:06:39	いうところで
0:06:42	図を示しております。
0:06:44	資料ちょっとですね今すぐ何ページというのが、言えないのでちょっと確認しますので、お待ちください。
0:07:21	北海道電力の太細です。資料別添になるんですけども、比較表の別1-35というページをご覧ください。
0:07:38	別1-35。
0:07:41	3連比較表になってる一番左が多いですけども、ここで、
0:07:46	ちょっと小さくて見づらいんですけどこの緑の部分ですね。
0:07:54	この緑の範囲が急傾斜地の崩壊ということで文献で示されていると、いうことが
0:08:02	多いですよと示されております。
0:08:06	以上です。
0:08:11	規制庁大塚です。承知しました。だから、21ページのところの設計方針には、
0:08:16	大岩書いてない。
0:08:18	けど泊を記載してるっていうことですね。
0:08:23	北海道電力の太細です。はい当社の場合、女川2号をリファラーレンスプラントとしておりますので女川2号に沿った記載。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:34	にしてると。ただ女川2号が、地すべりのところを地すべりとせ
0:08:41	土石流も含めて対象がないということですので、この場合は島根を参照しているということで、基本島根の記載であるとか調査であるとかそういったものを踏襲したということでございます。
0:08:57	はい。規制庁大塚です。わかりました。
0:09:01	ちょっと層理d uそういう理由のところに、大井も、
0:09:07	考慮しているってということがわかるように記載してくださいでもし以外にも、
0:09:12	考慮しているプラントがあれば、それも含めて記載の方お願いします。
0:09:18	北海道電力の太細です。承知しました。
0:09:31	規制庁大塚です。続きまして6自然の、
0:09:35	別1-38ページお願いします。
0:09:43	土石流調査についてですけども、島根は、
0:09:48	区域内に安全施設が、
0:09:50	あるから現地調査をしているということなんですけど、泊は、区域内に安全施設がないから、
0:09:56	机上検討のみで、現地調査はしていない。
0:09:59	ということなんですけど、
0:10:01	その他のプラントも含めて、安全施設の有無で、その現地調査をするかどうか。
0:10:07	ていうのを判断している実績があると理解してよろしいですか。
0:10:14	北海道電力の太細です。先ほどの大井の急傾斜地の崩壊、これは敷地外だったと思うんですけれども、
0:10:25	そこまで文献では示された上で、やはり安全施設がないので、現地調査を行ってない詳細な評価まではしてないといった例は大飯でもあるというふうに認識してますので、
0:10:38	あまり
0:10:40	当社が調査しなかったことが、初めてだとか泊オリジナルということではないというふうに理解しております。
0:10:50	規制庁大塚です。承知しました。敷地内だと、調査してないのは泊が初めてなんでしょうか。
0:11:02	北海道電力の太細です。ちょっと敷地内ということになると泊初めてかどうかというのは、すみません、ちょっと今即答はできないというところ です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:12	規制庁大塚で承知しました。そうしましたらちょっと実績の方調べていただいて後日回答の方お願いします。
0:11:20	北海道電力の太細です。承知しました。
0:11:24	はい。規制庁大塚です。それと38ページですね同じページで、
0:11:30	モニタリングポストについては、代替設備により、
0:11:34	安全機能が損なわれないということなんですけど、
0:11:37	管理設備側の条文で地すべりに特化して、
0:11:42	何か代替の設備、
0:11:44	を設置することってというのが説明されてましたでしょうか。
0:11:55	北海道電力の太細です。申し訳ありませんちょっと監視測定側でもですね、どのような説明資料構成になってるかというのはちょっと今即答ができないという状況です。
0:12:08	規制庁大塚です承知しました。ちょっとそこもですね確認していただいて、
0:12:13	当先行プラントで、その監視側の資料で、
0:12:18	それについてどう書いてるのかも含めて後日、回答の方お願いします。
0:12:24	北海道電力の太細です。承知しました。
0:12:28	はい。規制庁大塚です。続きまして、同じページで、
0:12:36	地すべりの影響評価のところ、下の方のポツのところのリスク、地すべりの影響評価のところ、
0:12:43	地すべり地形①と②については記載があるんですけど、③もパウポのほうには記載があるんですが③の記載はここにはしなくていいということではよろしかったでしょうか。
0:12:56	北海道電力の太細です。先ほどご説明したようにまずリファレンスプラントは島根2号というふうにしております。
0:13:05	リファレンスプラントである島根2号のですねまとめ資料をちょっと確認したところ、安全施設があるかないか。
0:13:15	で、安全施設がない。
0:13:20	区域番号って言うんでしょうかね泊でいきますと、010203とありますけれども、島根でも01から05、6辺りまでであるというふうに理解してるんですけども。
0:13:33	安全施設がない範囲については、特段、このページでは記載していなかったと。
0:13:40	いうところもありまして泊も丸さんの範囲は、安全施設ないわけですがけれども、特段記載はしなかったというものでございます。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:00	あ、規制庁大塚です。承知しました。そうすると地すべり地形②については、
0:14:08	開閉所があるから、記載してるってことですかね。
0:14:12	北海道電力の太細です。はい。その通りです。開閉所、クラス3設備になりますので、そういったものはあると。ただし現地調査等で、
0:14:22	地すべり地形ではないというようなまとめ方にしております。
0:14:28	規制庁大塚で承知しました。パワーポイントの2ページの
0:14:33	図では、①のところでモニタリングポストは書いてあるんですけど②で、
0:14:38	開閉所が書いてないんですけど、
0:14:41	ここはあれですかね、書いてもらったほうがいいんですかね。
0:14:46	北海道電力の太細です。
0:14:48	そうですね安全施設の有無という観点でいきますと確かに開閉所がありまして、
0:14:55	確かにパワーポイント資料の一番最後に
0:14:58	地形は認められないというのが書いてあるのですけれどもその前ですかね、安全施設である開閉所あるけれども、地すべり地形では、
0:15:08	とは認められないというようなまとめ方。
0:15:12	の方がまとめ資料に沿って、
0:15:14	いるのかなというふうには思いますのでちょっとこのパワポ資料のをどう盛り込むか盛り込まないか含めてですね、もう一度検討したいというふうに思います。
0:15:25	規制庁大塚で承知しました。ちょっと検討の方お願いします。
0:15:37	規制庁大塚で続きまして6自然の別1、
0:15:42	一、添付1、103ページお願いします。
0:15:49	6自然別1、
0:15:52	添付1、
0:15:53	103ページになります。
0:15:56	地すべり評価のフローが載ってるんですけど、
0:16:00	真ん中辺に、現地調査のところ、
0:16:05	枠の中に、
0:16:06	地すべりの特徴の有無っていうところがあったんですけど、
0:16:10	その地すべりの特徴の有無というのが具体的にこういったものを出すの かっていうのがわからなかったの、説明の方お願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:24	他、北海道電力の箕輪です。地すべりの特徴については別紙1の方に、
0:16:32	まとめて記載しておるんですけども、
0:16:48	比較表でいきますと、
0:16:54	6自然別1添付1---Aと134。
0:17:01	1項が、該当するんですけども、
0:17:09	すみません136の方の図の方がわかりやすいかと思うんですが、
0:17:15	文献で示されている、もうす傷印をしてるんですけども、
0:17:20	上の図でいきますと、上の方から滑落外と、
0:17:25	というようなものがあるんですけども、馬蹄形
0:17:29	こう書くような、
0:17:32	急な斜面があってその下に、
0:17:34	地すべり土塊とされてるような、
0:17:36	だんだんがついたような、そういった地形が認められると。
0:17:42	また、水文的特徴で言えば、
0:17:47	この滑落外の下に、ちょっとちっちゃい凹状地と、
0:17:51	凹凸の鬼を常時と書いてその辺りに行けと書いてあるんですけども、
0:17:56	こういったところに、
0:17:58	池ができたり、或いは、水文的特徴でいうと、
0:18:03	ちょっとこの図には
0:18:05	この図でいきますとそっ9、
0:18:08	先端部の先端と書いてあるんで、でっばってる形があると思うんですけどもこれの、
0:18:16	両側あたりで二次水がにじみ出してくるとか、そういったような水文的特徴が、
0:18:21	あります。そういったものを見ると、
0:18:23	いう内容になってございます。以上です。
0:18:33	規制庁大塚です。
0:18:35	承知しました。先ほどの説明が、134ページから文章で書かれてるということでもよろしいでしょうか。
0:18:46	北海道電力箕輪です。そういった趣旨のことが書いてございます。
0:18:53	規制庁大塚です承知しました。ちょっと後で確認したいと思います。
0:19:00	あと、気になったのがですね
0:19:03	安全施設については、
0:19:05	記載があるんですけどアクセスルートについては、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:19:08	どう評価してますでしょうか。
0:19:18	北海道電力の太細です。本日、
0:19:21	ご説明したのはあくまで、六条側と自然現象側ということでございましてアクセスルートの方につきましてはですね、アクセスルートの方で説明させていただくと。
0:19:34	ということと認識しております。
0:19:37	規制庁大塚です承知しました。後日説明されるということで、はい。
0:19:42	わかりました。私からはとりあえず以上です。
0:19:46	まず、会議室の方から追加の確認ありますでしょうか。
0:19:55	規制庁藤原です。ですねパワー暴れじゃないや、これは何だ。
0:20:04	と詰めてください。まとめ資料のですね。
0:20:07	地すべり地形さんの、
0:20:10	角谷さんに、
0:20:26	6 自然別 1-添付 1 の 167 ぐらいから、
0:20:37	地すべり地形③の調査結果っていうのがあって、
0:20:42	ちょっと丸さんっていうのは、安全施設はちょっとないけども一応
0:20:48	滑らないっていうふうな六条の方でされると、一応これ五条の入力津波の関連もあってちょっとお聞き、
0:20:56	ちょっと細かく確認させていただきたいと思いますのでええと、
0:21:01	一応今回その J I S ベリー、
0:21:06	のな滑らないっていうことかな。うわ、防災科研ですべて地すべり地形があるやつは、まず地形を判読して 2000 分の 1 だったかな。それで一応、
0:21:19	見てそれで一応その特徴がないということとあと現地調査で見てこれは地すべり地形ではないからっていう、
0:21:29	そういう流れだと理解しましたで、そこでですねそれに至るまでのロジックがちょっとなかなかちょっとわかりづらくて
0:21:39	例えばですね防災科研がなぜこれを李滑り地形と選んだにもかかわらず、2000 分の 1 のやつで、
0:21:49	どうしてそこを除外できるのか。例えば、例えば、何だろう。丸さんで、例でいくと、この数、ちょっと
0:22:00	谷沢っていうかな、その差は形状になってるっていうところが、実際、詳細な図を見るとこれはもしかしたら自然、
0:22:09	水の中で黄砂になったとか、だからさっきの地すべり地形の特徴。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:14	にはちょっと近いけども、その否定できる、多分そういったロジックがちょっとまず衛藤ないのかなというのが1点だからそこはちょっともうちょっと、たとえ先行ないとしても、きちっと何か
0:22:25	書いていただいた方がいいのかなっていうのが一つで、ちょっとこっこの現地調査の方がちょっとよくわかんなかったんですけども。
0:22:32	現地調査例えば島根とか見てみると、結構何だろう、そういう
0:22:39	この市、ちょうど境界部っていうんすかね 100、例えばこのべ添付1の168の姉妹でいくと
0:22:48	ちょうど滑る。
0:22:49	赤いラインに書いてある
0:22:52	上の方のところ、或いは一番下の下流側、下流側っていうかな、そこをちゃんと調査している、例えばPⅢなりこう医者の方を調査したりとかですね。
0:23:06	或いはもっとクローズアップした写真でもって確認するとかいうのが何かあたりもしたんですけど今回丸さんに言ったってなんかあんまり、そういうところがなくて要は結構透明から見て、
0:23:19	大丈夫です。
0:23:20	ピッっていうふうにしちちょっと見えなかったんですけどこれがもっと近くのところは見えなかった。いやもっと広い範囲、あと、もっと近くを見れなかったのかっていうことと、
0:23:31	あともう一つこういう調査をやった人間がどれだけの専門の人が調査をされたのか、例えば技術士の応用理学とかを持たれている方、これは確か大井の、
0:23:41	土石流とかの方の記載だと、そういった専門性のある人間がちゃんとやって、だから大丈夫ですみたいだから専門性がある人が、
0:23:52	いろんなところの代表性の写真を持ってきて、こいつだから大丈夫ですそういったロジックが多分あるかと思うんですよね。今回ちょっと、
0:23:59	泊を見ると、要はもしかして時、素人がやったとは言いませんよ。例えばもしかしたら何かあまり専門知識がない方が、ぱっと写真撮って大丈夫ですって
0:24:10	出るようにも見えないこともないので、そこをちゃんともうちょっと説明性を高めて欲しいんですねちゃんと専門性のある人、技術士とかがちゃんと調査した、でもちょっともしもクローズアップした写真とかが取れる或いは、
0:24:22	もうちょっと具体的な調査の内容日本語で書く。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:26	これ、何か
0:24:28	何だろう。
0:24:29	例えばその1個前の167ページの下の現地調査の結果の、
0:24:34	文字を見ると、数行しかないんですよ。ちょっと何か一専門分野の方が書かれたりしてちょっと寂しいですよ。もうちょっとなんかだから、
0:24:44	広域なんか透明で見たときにはこういう形状だからいいです。あともっと近くに行ってみて、してもやっぱり、何ていうかちょっと沢形状なってる所やっぱ自然的にこうえぐれているような状況。
0:24:56	確認されたとか、そういうふうな内容から、
0:25:00	要は地すべり地形を得、
0:25:02	んではないとか、そういうちょっとロジックがちょっと足りないような気がしました。ちょっと長々としゃべったんですけど、一応私の言いたいことを、伝わりましたか。
0:25:30	北海道電力の渡部です。はい。趣旨、承知いたしました。
0:25:35	少し先行の記載にとらわれずに我々として考えていることを記載していきたいと思ってます。藤原さんおっしゃってる通りこれ、まず地形像を我々として見たときに、
0:25:45	防災科研として4万のもののクロム写真を見たときに、滑落外じゃないかと考えてるところは、私たちとして地形を見ると、差は地形侵食地形であろうというふうに考えていまして、
0:25:57	それを裏付けるように現地調査をしていると、ご指摘の通りちょっと写真が2枚程度少ないというところもあるので、この辺の拡充はさせていただければなと思ってます。
0:26:06	あと専門性のある人が見たといったところの記載の拡充と評価が、
0:26:12	167ページに書かれてるのが、少し記載として薄いというようなところかと思えますんでこの辺りの充実もさせていただければと考えてございます。以上です。
0:26:21	規制庁伊田です。わかりました。あとちょっとこれは必須じゃないかもしれないけど、津波ボウリング場とかっていうのは何かもしそういう裏付けの写真、証拠としてあったら
0:26:32	これ別にマストじゃないかもしれないけどもしあったら何か示すことって可能なんですかね。
0:26:39	電力の渡部です。申し訳ございません。この範囲については、ボウリング調査結果というものを有してございませんで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:46	地表地質踏査に頼ってエビデンスを整理しているというような状況になってございます。以上です。はい。規制庁添田藤原ですわかりました。はい。
0:26:55	松井丸さんにフォーカスしましたけど②についてももしそういった観点でちょっと拡充ができるとかそういうところは確認いただけたらと思います。
0:27:06	私から以上です。
0:27:14	はい。規制庁大塚です。Webの方から何か、規制庁側から追加のコメントありますでしょうか。
0:27:22	宮本ですけど大丈夫でしょうか。お願いします。
0:27:27	ちょっと私も今聞いててあれだったんですけどパワーポイントでの②③のところがあって、
0:27:34	②は開閉所があって、小丸さんは、今度新しくスルー外33条側でやっている。
0:27:45	外部電源関係の鉄塔なり何なりっていうのがあると思うんだけど、それは確認したんでしたっけ、伊達東条の地下になるのかちょっとそこは私もそこまで覚えてないんですけど。
0:27:56	そこを確認されてるんでしたっけ。
0:27:59	北海道電力の太細です33条側で送電線を引くというところは確認しておりますけれども、ちょっと詳細なその鉄塔の位置図というところまでは、確認しておりませんでしたので、
0:28:13	確認して鉄塔なり、何か設備があるようであれば、盛り込むようにいたします。以上です。
0:28:22	網野ですけどその辺お願いします何となく丸さんが0203のところ少し、
0:28:29	調査が弱いような気がしていて、
0:28:32	言われてるよう2、敷地内なのでその辺はやっぱり、
0:28:41	質問があって指摘したように、防災関係の話がある以上も少しその調査結果なり何なりっていうのは、
0:28:52	ロジックを立てて、資料を構成していただかないと今結果しかちょっと見せられてないところがあってまとめ資料にはある程度書いてあるんですけど、
0:29:04	少しその辺がわかりにくいのと丁寧さが欠けるところがあるので、そこはよく見てもらえますかね。
0:29:15	北海道電力の太細です。はい、承知しました

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:19	調査結果、
0:29:22	拡充充実するということと、あと、安全施設の有無ということ、きちんと確認して反映するようにいたします。以上です。
0:29:34	規制庁のやつよろしく願います私なんか感覚的にやっぱり現地調査し っかりして欲しいなっていうところがあるんで、それが不要ないならもう うっかりもうちょっと
0:29:45	いらないというか不要だっていう判断のところの基準も含めて、考え方 をしっかりと盛り込んでいただければなと思います。いいですかね。
0:29:57	北海道電力の太細です。承知しました。
0:30:03	はい私から以上です。
0:30:07	規制庁大塚です。他WEBから何かコメントありますでしょうか。
0:30:13	はい。
0:30:15	ではこちら側からの確認は以上になりますが地すべりについて、事業者 側から何か確認はありますでしょうか。
0:30:24	北海道電力の太細です。当社からはございません。
0:30:28	規制庁大塚です。承知しました。それではディスプレイについてはこれ で以上としたいと思います。
0:30:38	規制庁大塚です。続きまして地すべり以外のの事象についてのご説明の 方まとめてお願いします。
0:30:46	北海道電力の太細ですはい。説明3点あって、地すべり一つ終わりました ので、残り2点ということになります。
0:30:55	残り2点のうちの1点目が、コメント回答ということで、3月3日、
0:31:02	以降にですね、ヒアリングでいただいたコメントの回答を説明する というものでございます。
0:31:09	それと説明内容の2点目ですけれどもこれ地すべりコメント回答以外で ですね、資料に反映してるものがございますので、その辺を説明すると。
0:31:22	いうものです。
0:31:23	ではまずコメント回答の方から説明いたします。資料のですね、
0:31:29	4-3をご覧ください。
0:31:35	資料4-3、7枚ものですが、これの5ページ。
0:31:42	ナンバーでいきますと、18番以降が、本日、回答する内容になっており ます。
0:31:49	まずNo.1920 なんかそうなんですけれども、グレーにしている部分です ね、これ

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:57	審査会合用のパワーポイントに関するコメントでして、すでに3月30日、それから昨日、審査会合で説明したというものでございますので、回答済みと。
0:32:11	いうステータスにしております。
0:32:14	それから地すべりに関するコメントもちょうだいしてまして、これについてはもう先ほど説明した通りですので、回答は省略いたします。具体的にはですね、No.の18番。
0:32:27	それから、29番、7ページ目ですね。
0:32:31	これらが地すべりに関するコメントでしたけれども先ほどの下の説明をもって回答にさせていただくと。
0:32:39	いうものです。
0:32:43	それからコメントの中で記載の適正化であるとか資料を盛り込む、追加するよという趣旨のコメント、複数ございまして、これらについては、
0:32:55	コメントを踏まえ、また、先行の審査実績なんかを確認した上で、資料の適正化を図り、
0:33:04	また盛り込むべきものは資料として盛り込んだということで、一括の回答とさせていただきます。
0:33:12	それら具体的にはですね、ナンバーの21番、それから、6ページに行きまして、23番から26番。
0:33:22	それと7ページの33番。
0:33:26	につきましてはですねコメントを踏まえて適正化した、または資料を追加したと。
0:33:32	いうことになってます。
0:33:36	以上、説明した中でまだ説明してないものについてこれから説明をいたします。
0:33:44	資料の5ページ。
0:33:46	ナンバーでいきますと22番。
0:33:49	ですね。
0:33:50	ナンバー22 これ火山の降下火砕物と積雪の荷重の組み合わせに関するコメントでした。
0:34:01	今週の火曜日25日にですね、火山のヒアリングございましてその中で、組み合わせに関する説明をしたところでございます。
0:34:11	説明をしてその内容は今回の資料にも反映しておるんですけれども25日のヒアリングで、コメントも出ましたので、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:21	引き続き荷重の組み合わせについては、
0:34:26	火山の方ですね、火山の方でコメント回答させていただき、
0:34:31	必要に応じてという過去のその他自然側に反映すべきものがあれば反映するということで進めて参りたいというふうに考えております。
0:34:42	それから資料でいきますと、
0:34:47	6 ページですね、6 ページの、
0:34:50	ナンバー27。
0:34:53	循環水ポンプ建屋の位置付けというところのコメントでした。
0:34:58	これ資料によってですね、取水ピットポンプ室であるとか、ストレーナ一室であるとかですねそういった記載しておったものもあったんですけども、
0:35:10	六条として統一的にですね、海水ポンプ、それからストレーナ、これらを設置している建屋と、
0:35:17	ということで循環水ポンプ建屋と、
0:35:20	いうものを抽出すると。
0:35:22	その上で、
0:35:24	防護方針ですね、建屋、循環水ポンプ建屋で防護するのか、それとも個別の海水ポンプなりストレーナ、
0:35:34	あとは取水ピットポンプなんかで防護に行くのかというのはですねその自然現象によって、適切に防護方針を策定すると。
0:35:42	いうことを、を方針としております。
0:35:48	コメント回答としてはですね以上でして、残り地すべりコメント回答以外で、資料に反映した部分というのをご説明いたします。
0:36:01	ちょっと口頭にはなるんですけども、3 点ございまして、1 点目は火山の関係ですね。
0:36:08	コメント回答でも一部説明しましたけれども、
0:36:13	火曜日 25 日にヒアリングありまして、層厚であるとか物性値、
0:36:21	当社の現時点の想定のものを説明させていただいてその内容をこちら、その他外部事象側にも反映しております。
0:36:32	それから 2 点目ですけども、航空機落下確率ということで、補足説明資料の方、もともとを盛り込んでおりましたけれども、
0:36:41	NRA 技術ノートと、
0:36:43	というのが先月ですかね、示されましたので、
0:36:47	それで落下件数ですかねこれが若干増えたり減ったりしてたというところで、最新化を図っております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:57	最新化を図ってはいるんですけども、結果として、数字上ですね、落下確率としては、以前のものと変わらないと。
0:37:06	ということになっております。
0:37:09	それから最後、
0:37:11	水柱事象ということで、昨年北海道の長万部町というところで発生した、地面から水が噴き出してくると。
0:37:21	というような事象についてもですね、技術情報連絡会ですかね、こちらで示されていたというところから、補足資料として追加いたしました。
0:37:32	概要ですけども、ガス田のを開発に伴って、
0:37:39	沖田梨生と、
0:37:41	それがほったらかしにされていてきたりしようというところで、泊周辺の地形見ますとそのガス田は分布してるというような地形ではございませんので、
0:37:52	泊周辺では消えないというような内容の資料になっております。
0:37:58	当社からの説明は以上です。
0:38:04	規制庁大塚ですご説明ありがとうございます。
0:38:09	まず、
0:38:11	最初に取りまとめた資料とか、
0:38:14	に記載があるページなんですけど結構、
0:38:17	実際のページと違ってあるので、ちょっともう1回見直していただいて、
0:38:22	修正をお願いします。
0:38:24	取りまとめた資料の1ページとか、
0:38:27	1ページですね、1ページの、
0:38:30	1-2の中に書いてある基礎ページがちょっと、
0:38:35	違って行って、はい。なかなか探せなかったもので、修正の方お願いします。
0:38:43	北海道電力の太細です。大変申し訳ございません。きちんと確認して、修正いたします。
0:38:51	規制庁大塚です。あと、航空機落下のところ、
0:38:57	比較表の6自然別1、
0:39:01	添付111から、
0:39:03	評価に係る資料が、
0:39:07	記載されてるんですけど、
0:39:09	すみません、6自然の別1添付1、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:13	ー11ですね。
0:39:16	最終的な航空機落下確率の数字は全く変わらないということなんですけど。
0:39:23	その件数が見直された結果、その途中、計算の途中のどこの数字が変わって、結果的に、
0:39:32	最後にどういう計算をしたから、最終的な確率の数字が変わらないのかっていうところをちょっと説明をお願いします。
0:39:45	北海道電力の砂川です。
0:39:48	事故件数の民間航空機と自衛隊機、米軍機のその内訳の件数が変わったというところで、その計算過程が
0:39:59	変わるんです結果的には、
0:40:02	表、落下確率は、同じであったというところのご説明なんですけれども、
0:40:09	ページが、添付別添1の添付1ー13ページ。
0:40:14	こちら、
0:40:15	2、件数を書いています。
0:40:20	少々お待ちください。前回の変更前の方、今ちょっと確認しますので、
0:41:05	はい。すいません。
0:41:06	えっとですねまず
0:41:09	今13ページの、こちらの第3表、
0:41:14	こちらに
0:41:17	それぞれの民間航空機とか、
0:41:20	とかの内訳を書いていますけれども、
0:41:23	この中のまず、FーVっていうところの小型固定、
0:41:30	翌期。
0:41:31	こちら、22というところがですね、まずこちらが前回お出した時には21件、
0:41:40	ですので21件から22件。
0:41:43	1件増えてます。
0:41:46	で、その下の大型回転翼機、こちらが、
0:41:51	前回は2件ですね、2件から今回1件に減少しております。
0:41:58	で、その下の小型回転翼機、こちらが前回は18件に対して、今回17件で1件減少してございます。
0:42:10	その結果、下のPVの確率ですけれども、
0:42:14	前回は9.98。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:17	掛ける10のマイナス9乗と、
0:42:20	いう計算結果だったんですけども、それが今回は 8.42×10 のマイナス9乗ということで、若干減少したと。
0:42:27	いう結果になってございます。
0:42:29	その次のページになりますけども、14ページですね。
0:42:33	こちらの方に、自衛隊機と米軍機の件数第4表ですねこちら記載してございますけれども、
0:42:40	こちらの方で、前回、まず、自衛隊機、
0:42:45	こちらは1件で、
0:42:47	変更はございませんが、米軍機の方、こちらの方が、前回が3件に対して、今回4件ということで、1件増えました。
0:42:56	その結果、下のPVのこの落下確率ですけども、
0:43:01	こちらが前回が 1.21×10 のマイナス8乗だったものが、 1.37×10 のマイナス8乗ということで、増加してございます。
0:43:12	その足し算の結果、前回と今回等で、2、約 2.3×10 のマイナス8乗という結果で、変わら結果的には変わらなかったと。
0:43:24	ということになってございます。
0:43:26	以上です。
0:43:29	規制庁大塚です。数字が変わらなかった理由がわかりましたので、はい、ありがとうございます。
0:43:35	藤。
0:43:37	私からは以上になります。
0:43:45	規制庁大塚です。それではWEBの方から何か追加の確認ありますでしょうか。
0:43:52	宮本ですけど、いいですか。
0:43:55	お願いします。
0:43:57	ちょっと何点かあって今日、今回、タービントリップのやつが追加されて補足資料22っていうのがあると思うんで、これ今日コメントしても大丈夫なやつでしたっけ。
0:44:13	北海道電力の太細です。
0:44:15	はい。コメントご指摘いただければ、検討いたします。
0:44:21	はい。内容自体が、特にコメントはないんですけど、
0:44:26	書き方として、補足資料22のはじめにのところで、
0:44:34	評価対象施設に抽出しているっていうところで、内容で問題ないんですけど

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:41	重度分類指針には該当しないものってというのがどっかに入っておかないと、ちょっと他の他の読んで全体上部以前整理してずっと
0:44:54	そごがあるような気がしたので、どっかになお書きか何かで入れといった方がいいんじゃないかなと思うんですけどいかがですかね。
0:45:03	北海道電力の太細です。
0:45:06	はい承知しました。12条、もともとは12条ですし、六条でいきますと竜巻であるとかあと89条とも関連すると思いますので、
0:45:17	その辺も見ながらですね、適切な表現記載というふうにしたいと思います。以上です。
0:45:24	はい。お願いしますそれとですね、ちょっと今日、今回表中のところで資料の20、補足資料の23が増えたんですけど、
0:45:35	これ3ポツの書き方なんですけど最後のこのまとめを別にして欲しいなと思っていて、
0:45:41	要はちょっと最後の三行がまとめっぽくなってるんですけど、影響は書いていただいて、や4まとめとして、どうどうどうするのかと。
0:45:51	いうところで最終的には基準A Aに該当することから設計上考慮すべき、想定される事象として、評価対象と、対象外と整理。
0:46:03	整理するっていう、多分終わりもちょっと考えるで終わっちゃってるので、少しちょっと書き方を工夫していただけますか、これ。
0:46:13	北海道電力、砂川です。この辺りの記載の方、適切に修正するようにいたします。
0:46:22	宮本ですけど私の方は以上です。
0:46:27	規制庁大塚です。他にWebの方から追加のコメントありますでしょうか。秋本さんお願いします。
0:46:35	秋本です。ちょっと細かい話なんですけど、資料4-2の、
0:46:42	6-23。
0:46:45	次、
0:46:57	あたし喜ぶんですけど、
0:47:01	下の方のですね、TP+10ってあるじゃないですか。
0:47:05	はい。
0:47:06	やっぱりプラスとか、プラスわかんないんですって言ってなかったでしたっけ。それは違うんでしょう。
0:47:18	北海道電力の太細です。
0:47:20	はい。今ご指摘いただいた通りですねプラスの場合はプラスとか数、マイナスの場合だけと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:27	というのが社内の決まりというか統一してた部分ですので、もう一度この部分以外も含めてですね、確認して、適正化いたします。以上です。
0:47:40	自然現象とか規制庁アキモトです自然現象とか別にしてるわけじゃなくて一応泊の記載としてはそれで統一するっていうことになってるってことですか。
0:47:53	北海道電力の太細です。はい。その通りです。
0:47:58	そうなんですか。わかりました。
0:48:01	規制庁秋本です私からは以上です。
0:48:07	規制庁大塚です。こちら側からの確認は以上になりますが、事業者側から追加の説明や確認事項ありますでしょうか。
0:48:19	北海道電力の太細です。当社からはございません。
0:48:24	はい、規制庁大塚で承知しました。それでは、これでヒアリングの方を終了したいと思います。ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。